

「多文化共生社会」～相互理解で豊かな暮らし～

2016 年は訪日外国人旅行者が 2,000 万人、在留外国人も 230 万人を超えてともに過去最高となりました。日本人と結婚したり、日本に「住んでみたい」「勉強したい」「働きたい」という海外での日本の人気が高いことは嬉しいことです。

しかし実際に暮らすと日本語や社会の制度や習慣が異なるために戸惑うこともたくさんあります。中でも言葉を学ぶ機会や命を

守るための防災と医療、そして子どもの教育などは、受け入れる地域社会がサポートしていく必要があります。

城陽市国際交流協会では、日本人住民と外国籍住民がお互いに理解し合い協力して地域が発展できるよう日本語教室や防災の取り組みを行っています。人との交流を通して「日本に住んでよかった」と感じてもらえることが大切ではないでしょうか。



日本語教室の様子

地域日本語教室

「多文化共生社会の一丁目一番地」と表されるのが地域の日本語教室です。日本語支援ボランティア団体「夢気球」と協働で実施している日本語教室は、2011 年 9 月にスタートして満 5 年となりました。

2016 年 12 月現在、12 カ国から来日した 48 人の外国人が、38 人の日本人ボランティアと一緒に日本語を学習しています。来日の

理由も日本人との結婚、仕事、技能実習生、留学生、研究者などさまざまです。出身地域はアジア 39 人、南北アメリカ 7 人、ヨーロッパ 2 人で、日本語学習を通して、日々の疑問を尋ねたり、文化や社会の習慣・ルールを知り、日本人との交流を楽しんでいます。

昨年 5 月～7 月に京都府国際センターと共催で 4 回目となる「日本語支援ボランティア養成講座」を実施して 29 人が修了し、8 人が活動に参加しています。

災害時の外国人支援

多文化共生の取り組みの中で喫緊の課題とされているのが災害時の外国人支援です。1995 年の阪神・淡路大震災により在住外国人支援の必要性が認識され、新潟県中越沖地震、東日本大震災、昨春の熊本地震などでの支援活動と並行して各地で取り組みが進められています。

外国人は災害時に言葉の壁から必要な情報を得られない、生活習慣の違いから避難所生活でトラブルが起こる、また地震や津波など出身国にはない災害の対応がわからない、などの問題があります。災害時に外国人支援を行うには①外国人に情報を伝えるシステム作り②外国人自身に災害時の対応を知ってもらう③地域住民に外国人の存在を知ってもらい対応を考える、の 3 点が大切です。何よりも日頃から地域に住む外国人がいることを理解し、お互いに良い関係作りをしておくことが望めます。そうすれば外国人は情報弱者ではなく救助活動や復興活動で支援を行う側へ回ることもあります。

今回はこれまでの城陽市国際交流協会の取り組みを紹介します。

(1) 外国人のための防災訓練

11 月 6 日に寺田南小学校区の防災訓練に在住外国人と一緒に参加し、起震車や煙ハウス体験、AED の使用方法等を学びました。また訓練後には



AED の操作を体験

ワークショップを実施して、防災用語や災害への備え、防災マップで自宅近くの避難所を確認をしたりしました。

この取り組みは今年度で 6 回目となりますが、炊き出しにイスラム教徒に対応したメニューを用意してもらえるなど、校区の住民の人たちにも外国人住民の存在を知りその対応を考えてもらえる、多文化共生の取り組みとなっています。

(2) 多言語支援センター設置訓練

実際に災害が起こったときには、行政などから災害状況やライフラインの復旧状況、配食や給水のスケジュールなどの情報が次々と避難所に届きます。さらに復興期には馴染みのないさまざまな制度が作られます。しかし、日本語が十分に理解できない外国人にはこの情報がうまく伝わりません。また、パスポートや在留資格の期限、母国の家族との連絡など外国人特有の問題もあり、外国人被災者は日本人とは違う不安を抱えます。多言語支援センターは行政と連携して情報の翻訳を行ったり、避難所を巡回して外国人被災者のニーズを聞き取り、相談に応じる役割を担います。

この多言語支援センターを設置・運営するための訓練が各地で実施されています。今年度は 11 月 20 日に広島県安芸高田市で実施された訓練に当協会の理事、職員、外国人ボランティアが参加し、「外部から駆け付けた被災地の救援」という設定で訓練を行いました。

2016 年 4 月の熊本地震の際には実際に多言語支援センターが設置され、当協会からも職員 2 名を派遣し外国人支援活動を行いました。

(3) 防災ガイド・防災協定

当協会では「外国人のための防災ガイド」を作成し、日本語教室学習者をはじめとする外国人住民に配布しています。防災ガイドは日本語 / 韓国・朝鮮語、英語 / 中国語の 2 種類あります。協会

事務局に設置、またホームページにも掲載していますので、ぜひご利用ください。

また、現在城陽市との災害時の協定作りを進めています。災害が起こった際に市や外部支援機関と連携して外国人支援を行うための協定です。

(4) やさしい日本語

これらの取り組みにあわせて「やさしい日本語」が活用されています。災害時の情報伝達のために弘前大学で研究が進められてきましたが、災害時に限らず日常の情報伝達に自治体などで使われています。ご興味のある方は協会へお問い合わせください。

これらの取り組みには協会会員や日本語教室関係者に限らず、広く市民のみなさまのご理解・ご協力を必要としています。本年も「多文化共生のまちづくり」をよろしくお願いいたします。

子ども英会話講師募集!!



小学校 5 年生～6 年生向けの英会話教室をネイティブ講師とともに担当できる方を募集します。

資格：英検準 1 級以上、TOEIC 700 点以上、または同等の英語力がある人。大学生以上。

場所：城陽市国際交流協会

時間：2017 年 4 月 11 日～2018 年 3 月 13 日

毎週火曜日（年間 43 日）

午後 4 時 40 分～7 時 15 分

（45 分授業 3 コマ）

給与：1 回 4,500 円（交通費別途）

締切：3 月 10 日（金）

*詳しくは募集要項をご覧ください。窓口または E メールでお問い合わせください。



語学講座受講生募集！

ネイティブ・スピーカーとの会話を
楽しんでみませんか？

英会話講座 <①昼コース ②夜コース>

- ▼期 間 ① 1月25日～3月1日 全6回・毎週水曜日 昼
② 2月6日～3月13日 全6回・毎週月曜日 夜
- ▼時 間 ①午後2時～3時30分 ②午後7時～8時30分
- ▼講 師 ① Andrea 先生 Daniel 先生 Kelli 先生 Kevin 先生 Ryan 先生
② Allen 先生 Kelli 先生 Ryan 先生
- ▼場 所 城陽市国際交流協会
- ▼定 員 各コース40人（3クラス制）
- ▼受講料 ①会員 2,000 円 一般 5,000 円
②会員 3,000 円 一般 6,000 円
- ▼締切り ① 1月18日（水） ② 1月30日（月）



韓国語講座 <初級Ⅲ・朝コース>

- ▽期 間 2月1日～3月15日 全6回・毎週水曜日（但し3月8日を除く）
- ▽時 間 午前10時～11時30分
- ▽講 師 洪鉉靜（ホ・ヒョソ ヨソ）先生
- ▽対 象 ハングルの基礎の読み書きができる人
※初めての人はご相談ください
- ▽場 所 城陽市国際交流協会
- ▽定 員 24人
- ▽受講料 会員 2,000 円 一般 5,000 円
別途テキスト代 2,160 円
- ▽締切り 1月25日（水）



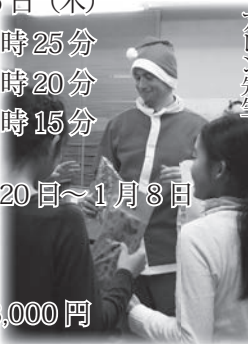
JIEA Kids World @ さんさんフェスタ 子ども英会話教室

- ▽日 時 2017年2月12日（日）
① 12:30～13:15 ② 13:30～14:15
③ 14:30～15:15（各45分）
- ▽場 所 文化パーク城陽 西館3階
- ▽定 員 1クラス16人（先着順）
※定員に満たない場合、当日参加可
- ▽受講料 1クラス300円（家族が会員の場合は無料）
- ▽対 象 小学生（1年生～6年生）
- ▽講 師 ライアン先生（城陽市 AET）



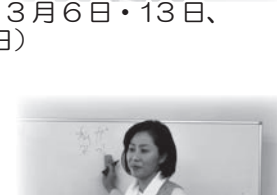
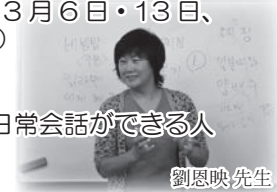
JIEA Kids English 子ども英会話教室

- 1年間、週2回の継続的な授業で楽しく学びながら英語での自己表現ができることを目指します。講師はネイティブ・スピーカーと日本人です。
- ▼期間・時間 2017年4月11日（火）～2018年3月15日（木）
ベーシック・クラス① 午後4時40分～5時25分
ベーシック・クラス② 午後5時35分～6時20分
アドバンス・クラス 午後6時30分～7時15分
- ▼授業回数 1回45分、週2回（火・木）、年86回
夏季休暇8月4日～16日、冬季休暇12月20日～1月8日
- ▼場 所 城陽市国際交流協会
- ▼定 員 各クラス8人
- ▼月 謝 会員 6,000 円、入会金として協会年会費 3,000 円
- ▼教材費 月謝に含む
- ▼対 象 ベーシック・クラス 小学校5年生、新規入会の6年生
アドバンス・クラス 2016年度より継続の6年生、または同等の英語力のある6年生（学年は2017年度のものの）
- ▼締 切 先着順、3月24日（金）必着 ※4月6日（木）説明会



年間継続して学べる 韓国語クラブ 第3期

- ▽朝コース A、B、C、H
▽昼コース F
▽夜コース D、G
- ★の数が多いほどレベルが上がります
- ◎韓国語クラブA ★★★★★
▽期 間 1月12日・19日、2月2日・16日、3月2日・16日、
4月6日・20日（全8回、全て木曜日）
▽時 間 午前10時30分～12時
▽講 師 劉恩映（リウ・ウンヨソ）先生
▽対 象 日常会話ができる人
▽募集人数 11人（定員24人）
- ◎韓国語クラブB ★★★★★
▽期 間 1月17日・31日、2月14日・28日、3月14日・28日、
4月11日・25日（全8回、全て火曜日）
▽時 間 午前10時～11時30分
▽講 師 申セミ（シン・セミ）先生
▽対 象 基本的な文法を終えた人、会話中心の授業
▽募集人数 13人（定員24人）
- ◎韓国語クラブC ★★★
▽期 間 1月16日・23日、2月6日・20日、3月6日・13日、
4月3日・17日（全8回、全て月曜日）
▽時 間 午前10時30分～12時
▽講 師 劉恩映（リウ・ウンヨソ）先生
▽対 象 動詞の活用（過去形など）及び、簡単な日常会話ができる人
▽募集人数 9人（定員24人）
- ◎韓国語クラブD ★★★★★
▽期 間 1月11日・18日、2月1日・15日、3月1日・15日、
4月5日・19日（全8回、全て水曜日）
▽時間 午後7時～8時30分まで
▽講 師 林美善（リン・ミソ）先生
▽対 象 動詞と形容詞の活用（時制・連体形）ができる人
▽募集人数 19人（定員24人）
- ◎韓国語クラブF ★★
▽期 間 1月16日・23日、2月6日・20日、3月6日・13日、
4月10日・17日（全8回、全て月曜日）
▽時 間 午後1時30分～3時
▽講 師 張敬勲（チャ・キョソソ）先生
▽対 象 動詞の活用（過去形など）ができる人
▽募集人数 20人（定員24人）
- ◎韓国語クラブG ★★
▽期 間 1月12日・26日、2月9日・23日、3月9日・16日、
4月13日・27日（全8回、全て木曜日）
▽時 間 午後7時～8時30分
▽講 師 張敬勲（チャ・キョソソ）先生
▽対 象 動詞の活用（過去形など）ができる人
▽募集人数 18人（定員24人）
- ◎韓国語クラブH ★
▽期 間 1月13日・27日、2月10日・24日、3月17日・31日、
4月14日・28日（全8回、全て金曜日）
▽時 間 午前10時～11時30分
▽講 師 洪鉉靜（ホ・ヒョソ ヨソ）先生
▽対 象 ハングルの読み書きの基礎が出来る人
▽募集人数 14人（定員24人）
- ※韓国語クラブA、B、C、D、F、G、Hとも
△場 所 城陽市国際交流協会
△受 講 料 1期間につき 会員 6,400 円、一般 9,400 円
（別途テキスト代 A：3,024 円、B：2,700 円、C：3,618 円、
D：3,618 円、F：2,160 円、G：2,160 円、
H：2,160 円）



※韓国語クラブは随時受付中です。
※各講座・コースとも、申込みが定員を上回った場合は、協会会員を優先し抽選します。

《語学講座応募方法》

Eメール、ファクス、往復はがき、または協会窓口にて講座・コース名、住所、氏名（フリガナ）、電話番号、会員/入会希望/一般の区分を明記の上、協会までお申込みください。協会からの返信は申込み方法に準じます。ホームページでもお申込みいただけます。なお、郵送の場合返信用はがきの表には、申込者の住所、氏名を記入してください。連絡先は表紙面右上をご覧ください。

《『さんさんフェスタ』『子ども英会話教室』応募方法》

Eメール、ファクスまたは、往復はがき、または協会窓口にて「さんさんフェスタ」又は「子ども英会話教室」、希望のクラス、住所、保護者氏名（フリガナ）、児童氏名（フリガナ）、学校名、学年、電話番号を明記の上、お申し込みください。ホームページでもお申込みいただけます。※返信用はがきには、保護者の住所、氏名を記入してください。連絡先は表紙面右上をご覧ください。

京ブランド認定
とうふ工房
京豆腐
きょうと信頼食品登録制度
第1号
伊賀屋食品工業(株)
〒610-0118 京都府城陽市水主塚ノ木31-6
TEL 0774-52-0281
FAX 0774-52-3726
http://www.kyozuen.jp

独自のLED技術により照明の新時代を拓きます
SEIWA QUALITY
Seiwa technology offers high quality

星和電機株式会社
〒610-0192 京都府城陽市寺田新池36番地
TEL.(0774)55-8181 FAX.(0774)58-2034
ホームページ http://www.seiwa.co.jp

インド・ネパール料理 レストラン＆バー
ディナ インビテーション
おいしい本場の **カレーとナン**
2017年3月末まで
この広告をお持ちの方には
・ランチお一人様100円引き
・ディナーセット 5% オフ
・単品料理 20% オフ
スペシャル・オファー
生ビール 350 円
ランチ 11:00～14:30
ディナー 17:00～22:30
城陽市寺田樋尻44-6 寺田駅前ビル1F東（寺田駅南側路切東すぐ）
Tel/Fax: 0774-55-1301 予約承ります。
駐車場 東へ100m 谷口住建（株）様 ②③⑤番

印刷メディアを
総合プロデュース
オフセット印刷（カタログ
パンフレット・チラシ）
企画・撮影・各種帳票
名刺・ハガキ
コンピューター伝票
書籍・カレンダー
TOTAL PRINTING
タケダ印刷株式会社
本社・工場
〒610-0115 京都府城陽市観音堂甲畑63
TEL 0774-53-3643(代) FAX 0774-55-2754
E-mail h-takeda@h9.dion.ne.jp